知立市農業委員会総会議事録

公示年月日	令和2年7月13日
招集年月日	令和2年7月22日
招集場所	知立市中央公民館 1階 大会議室
参集時間	午後2時05分、委員17名、市民部長および事務局3名が参集した。
出席委員	<p>農業委員：1 杉原敬浩 2 高村昭広 3 林勝則 4 毛受浩 6 永田治男 7 杉浦直美 8 石原國彦 9 鈴木和幸 10 藤井公人 11 池田とみゑ 12 竹本有基 13 岡田均 14 成瀬廣美 推進委員：平澤信幸 中野明夫 岡田教孝 石川勝幸</p> <p style="text-align: right;">計17名</p>
事務局	鶴田市民部長、近藤事務局長、事務局職員＝加藤淳司、脇坂真也
欠席委員	5 高木芳夫
開会時間	午後2時07分 開会宣言 総会規則第7条の規定により定足数に達しておりますので総会を開会します。(会長)
日程第一	午後2時12分 議事録署名委員の指名 3 林勝則 4 毛受浩 委員を指名します。(会長)
日程第二	議案の審議
第1号議案 1番 2番	<p>生産緑地に係る農業の主たる従事者証明願について</p> <p>【議案第1号1番について議案書をもとに説明】</p> <p>会 長：地元の委員さん、補足説明はありますか。</p> <p>委員7：証明する主たる従事者は、生前申請地を自身を耕作しており、亡くなった後は、申請地の隣地に住んでいる娘や息子が家族が耕作をしている状態であると申出人より聞いています。</p> <p>会 長：地元の委員さんより補足説明がありましたが、他に何かご質問、ご意見はありますか。</p> <p>委 員：(意見なし)</p> <p>会 長：それでは承認することといたします。</p> <p style="text-align: right;">(午後2時18分)</p> <p>【議案第1号2番について議案書をもとに説明】</p> <p>会 長：地元の委員さんが本日欠席ですが、事務局は事前に地元の委員さんより説明</p>

	<p>を聞いていますか。</p> <p>事務局：地元の委員さんより事前に案件についての説明がありましたので、ご報告いたします。</p> <p>証明する主たる従事者は、申請地で梨畑を耕作していました。最近では、梨畑をやめ、申出人である息子夫婦と協力し野菜を耕作していました。</p> <p>昨年3月に脳梗塞を患い、施設へ入所しました。入所後は、息子夫婦が引き続き畑を耕作してきましたが、今年6月に証明する主たる従事者が亡くなったため、今回の申出を行ったとのことですので、申請はやむを得ないものと思います。また、市街化調整区域内に3筆田を所有していますが、うち2筆は引き続き私と利用権設定を結び耕作を依頼いただける予定であると伺っています。残りの1筆については、従来よりシルバー人材センターと提携を結び、カキツバタの育成を継続する予定と聞いています。</p> <p>地元委員からの聞き取りは以上です。</p> <p>会 長：地元の委員さんからの聞き取り内容について事務局より説明がありましたが、他に何かご質問、ご意見はありますか。</p> <p>委 員：(意見なし)</p> <p>会 長：それでは承認することといたします。</p> <p style="text-align: right;">(午後2時21分)</p>
<p>第2号議案 1番</p>	<p>生産緑地買取り申出に係る農地の斡旋協力について</p> <p>【議案第2号について議案書をもとに説明】</p> <p>会 長：斡旋協力の依頼になりますので、地元の委員のみなさまは現地を確認いただき、期日までに回答のご報告いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">(午後2時23分)</p>
<p>日程第三 報告案件 1号 2号 3号 4号</p>	<p>会 長：報告案件について、お気づきの点があればご発言ください。</p> <p>委員3：報告第3号について、転用許可不要の案件とのことですが、どのようなものが建つのでしょうか。また、このような認定電気通信事業者が申請する案件について、維持管理していく上での、駐車スペース等の確保は想定しているのでしょうか。</p> <p>事務局：まず、どのようなものが建つのかにつきましては、事前に事業計画書が提出されており、電柱のようなものが1本建つのみで、周りをフェンスで囲ったりすることはありません。場所については、圃場の角地であり、農地の耕作上の支障はないものと考えております。次に、駐車スペース等を確保しているの</p>

かという点につきましては、確保している計画ではありませんが、過去の事例についても、同様の申請内容で出ております。

会 長：報告第3号について、他に、ご質問、ご意見はありますか。

事務局：補足説明をいたします。当該案件は転用許可不要ではありますが、転用許可申請の代わりに、事業計画書を県へ提出したため報告しております。なお、9月総会においてこの案件の農振除外を議案としてご審議いただく予定です。当該案件は「農業振興地域の整備に関する法律施行規則」第4条の5第1項第21号の「電気通信事業法による電気通信事業の用に供する中継施設」に該当し、農地の南側角地に設置予定で、現在も果樹や野菜が植え付けられていない位置への設置計画となっています。当該案件は、県西三河農林水産事務所へ提出済みであり、県西三河農林水産事務所も農振除外は事後でよいと回答を得ており、すでに着工可能となっています。

委員3：報告第4号について、かさ上げの高さはどの程度でしょうか。また、農地は大水害時の雨水調整池としての役割も求められますが、かさ上げについての要綱や基準は設けているのでしょうか。

事務局：今回の届出については、盛り土は30cmとなっています。また、盛り土は60cm以内と要綱で基準を設けています。

会 長：以前、申請地の東側の農地の農地改良届出が出た際に、かさ上げの高さについて議論した経緯がありますが、今回の申請地の改良後の高さは、東側の農地と同じ程度の高さになるのでしょうか。実際に、申請地を耕作されている委員1に伺います。

委員1：東側の農地よりはかなり低くなります。東側の農地の農地改良時は、かさ上げ後に農道よりも高くなり農機具の乗り入れが大変になってしまったため、今回は、施工業者に30cmのみの盛り土をするよう強く願っています。

事務局：補足説明をいたします。届出では、接する農道の高さが90cmの部分に対し盛り土30cmをする計画が出ております。

事務局長：委員3から意見のありましたとおり、農地は大水害時の雨水調整池としての機能を果たす面があります。一方で、農業委員会といたしましては、委員1から意見のありましたとおり、農作業の効率化に必要なこととして、判断をし、認めていければと思います。

また、事務局からの説明にありましたとおり、農地改良届出の指導要綱を平成25年に設けましたので、届出があった際は、この基準に沿って、届出者に指導をしていく予定です。

委員3：耕作者は隣地との高低差が無いほうが作業をしやすいと思いますが、今回の申請だと、隣地との高低差がついてしまいます。集積・集約化という観点からは、支障がでてしまうのではないのでしょうか。

会 長：委員1から意見のありましたとおり、申請地は東側の農地よりも低くはなり

	<p>ますが、東側の農地と同程度の高さまでかさ上げをすると、農道よりも高くなり、農機具の乗り入れが大変になるので、やむを得ないと思います。</p> <p>委員 2 : かさ上げをする際に、同時に畦畔除去もできると作業効率化につながるため、同時にできるよう地権者との話し合いに努めていますが、畦畔除去に抵抗のある地権者がまだまだ多いです。今後、集積・集約化の具体的な方向性が見えてくると、地権者に理解してもらいやすくなり、より効率的な耕作ができるかと思います。</p> <p>会 長 : 集積・集約化は、今後の重要な課題です。集積化はある程度進めていくことはできますが、集約化は高低差をなくしていく必要がありますので、今後しっかり検討していければと思います。</p> <p style="text-align: right;">(午後 2 時 4 0 分)</p>
<p>日 程 第 四 そ の 他</p>	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入保険制度について（愛知県農業共済組合） ・委員証等の配布について（事務局） <p>全員配布：委員証、帽子、腕章、農業委員会業務必携、委員名簿、総会予定表 新任委員のみ：委員章（バッジ）</p> <p>9月11日（金）開催の農業委員及び農地利用最適化推進委員等研修会の通知については、8月総会時に会長名で通知案内予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会におけるマスクの着用について（事務局） ・公務災害保険について（事務局） ・活動状況報告について（事務局） ・体験農村かきつ畑の実習について（事務局・委員 3） <p>体験農村での事故は公務災害に該当するかについては、確認後報告。</p> <p style="text-align: right;">(午後 3 時 0 5 分)</p>
<p>閉 会 時 間</p>	<p>午後 3 時 0 5 分 閉会宣言（会長）</p> <p>農業委員会総会を閉会します。</p>